

2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会

ミドル・ディスタンス、リレー競技部門

要項 1

発行日：2020年9月2日（水）

発行者：2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会

発行責任者：糸賀 翔大（実行委員長）

編集責任者：田中 創（広報責任者）



2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会（ミドル・ディスタンス、リレー競技部門）を以下の通り開催します。

開催日

2021年**3月12日**（金）～**14日**（日）

- ・ 3月12日（金）：モデルイベント、開会式
- ・ 3月13日（土）：ミドル・ディスタンス競技部門
- ・ 3月14日（日）：リレー競技部門、閉会式

なお、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、内容の一部変更、延期、中止の判断を行う可能性があります。

開催地

三重県伊賀市 青山高原周辺

主催

日本学生オリエンテーリング連盟

主管

2020年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドル・ディスタンス、リレー競技部門実行委員会

	ミドル・ディスタンス競技部門	リレー競技部門
実行委員長	糸賀 翔大（東京 11）	
競技責任者	森河 俊成（京都 16）	
運営責任者	実藤 俊太（京都 13）	
コース設定者	築地 孝和（神戸 13）	加藤 岬（東京 14）
イベント・アドバイザー	木俣 順（名古屋 91）	

主管者の連絡先（お問い合わせはこちらをお願いします）

実行委員会問い合わせ用アドレス（ミドル・ディスタンス、リレー競技部門共通）

✉ e-mail: 2020icmr_info@googlegroups.com

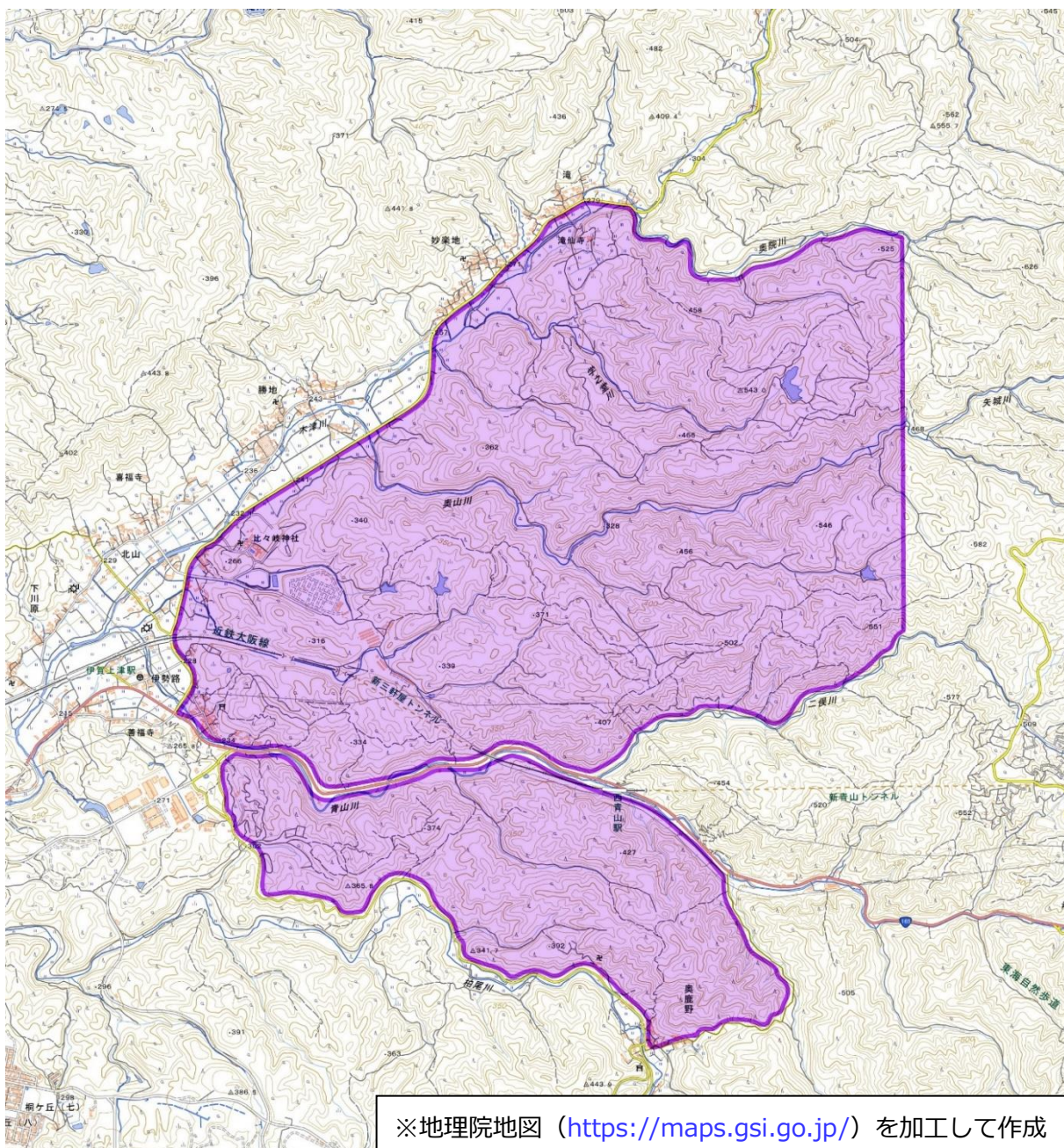


立入禁止区域・クローズテレイン

本大会への参加を予定している者（チームオフィシャル^{※1}、併設大会参加者^{※2}含む）および観戦を予定している者は、要項 1 発行日から本大会終了までの期間、下図に示す区域へのオリエンテーリング目的（テレイン視察含む）での立入を禁止します（当該区域使用下でのモデルイベント時、競技参加時を除く）。なお、近鉄大阪線および立入禁止区域周辺道路の利用は妨げません。

※1 本大会参加校は、チームオフィシャルとして選手のサポートを行う者を登録することができます。チームオフィシャルについての詳細は、後日発行される要項 2 をご覧ください。

※2 本大会には日本学生オリエンテーリング連盟の加盟員のみ出場可能ですが、一般の方を対象とした併設大会を開催する予定です。詳細は後日発行される併設大会要項をご覧ください。



立入禁止区域の設定に伴い、以下のトレインをクローズします。

クローズトレイン

「青山高原」 2011年 京都大学・京都女子大学オリエンテーリングクラブ作成

「奥鹿野」 2004年 2003年度日本学生オリエンテーリング選手権大会実行委員会作成

参加申し込み

本大会の参加申し込みに関する情報は、後日発行される要項2をご覧ください。なお、要項2の発行は11月頃を予定しております。

(要項1 おわり)

アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょうか？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、素晴らしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。



勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構